広報
あいかわ

毎月2回10日・25日発行
発行所
秋田県北秋田郡
合川町役場
編集責任者
広報係　杉淵佐一郎
（合川町役場総務課
TEL合川4番）
（1回発行部数2,350）

地域指定に正式認可
集約酪農　将来に大きな期待

◇合川町、鷹巣町、森吉町、田代町、比内町、大館市の一市五町◇
◇ではさきに「米代川中流地域集約酪農建設協会」を結成し、農◇
◇林省に対して地域指定の申請を出していたが去る十九日付をも◇
◇つて正式に指定を認可された。◇

本年度はまず準備年次として前記一市五町に酪農建設委員会の結成をはじめ、サイロ、畜舎の改新築、採草地の改良、啓蒙宣伝などが重点的にとりあげられているが、明年度からは乳牛の導入も本格的にはじめられる予定であり、これと併行してクローバー乳業KKでも明年度から鷹巣町に大規模な酪農工場建設に着手三十四年度からは操業をはじめることとなつており、今後五ケ年計画で進められる酪農建設計画の完成（昭和三十六年）後は大野台を中心とする同地域は県北のみならず県内唯一の「酪農センター」としての発展が各方面から期待されている。

▼酪農建設協会畠山会長（合川町長）の話

『農林省の本指定を受けることが出来て良かつたと思つている。組織等は一応ととのえてあるから、すぐ建設計画の実施に着手したいものだ。何よりも地域住民の酪農に対する理解と協力が必要なのでこれからは関係各市町との連絡を密にし、酪農の振興に努力したい』

会長に畠山町長
町酪農建設委員会発足

町では集約酪農の地域指定（別項のとおり）がいよいよ本決りとなつたので、去る二十一日午前九時より役場会議室に酪農建設委員会（準備会）を招集、畠山町長より現在に至るまでの経過説明があつた後ただちに委員会に移り、規約の審議、役員の互選、常任委員の選任等を行い今後の酪農振興に乗り出すことになつた。

当日選任された役員及び常任委員氏名は次のとおり

◇会　長　畠山　義郎
◇会長代理　桜井与之助
◇事務局長　柴田　勝直
◇常任委員（順不同）
関　喜兵衛
疋田　参良
安部松五郎
松橋悦次郎
桜井与之助
杉淵武一郎
加藤喜一郎
金田悦財門
近藤惣太郎
小林　勇蔵
佐藤　一郎
柴田　国松

町の目標額は

11　くえ
~~114万2千円~~

―募金に御協力を―

たすけあいのまごころで結ばれる赤い羽根の共同募金運動がことしもやつてまいりました。

この運動がはじめられてことしは早くも十一年目をかぞえますが、私たちの周囲から不幸な人たちを少しでもなくして、明るいそしてしあわせな社会を築こうと努力を続けてきておりま す。

町民のみなさんからは毎年絶大なる御協力をいただき、町の募金成績も良好な結果に終つておりますことは関係者一同まことに感謝に堪えないところであります。

ことしの町の目標額は、百十四万二千七百六円でありますが、近く各組織を通じて御協力をお願いする予定でございますので、本年もぜひ目標額の早期達成に御協力をお願いいたします

（民生課厚生係）

体育指導員決る

健康にして明朗、活力に富んだ県民生活を確立するための積極的な方法の一つとして秋田県教育委員会ではさきに県内各市町村に対し「体育指導員」の推薦を求めていたが、このほどわが町の体育指導員として次の四氏が体育、レクリエーション指導の先達として発令された。

体育指導員のしごとは、『地方体育の振興に意を用い各種体育事業に積極的に協力すること』となつているので町内各種体育団体の有意義な活用が望まれている。

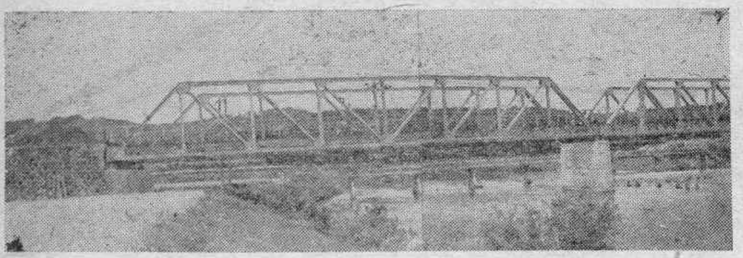
◇指導員氏名
○和田勇治（合川町農業共済組合職員）
○桜田昭一（商業）
○武石　弘（合川西中学校教諭）
○疋田参良（下大野農業協同組合長）

―町内初の永久橋―
芹沢橋近く完成

一昨年の水害で流失した県道芹沢橋の復旧工事は、昨年秋着工以来昼夜にわたる工事を続けていたが、いよいよ近く完成することになつた。

同橋の永久橋架替設計額は二千五百七十万八千円という巨額でこれを上部鉄骨工事と下部橋脚工事の二つに分け下部は秋田土建（北林組）上部は東京鉄工橋梁KKがそれぞれ施工して来たもので、工事も順調に進み後は最後の仕上げを残す程度となつている。

また町では二十四日開会の議会協議会で同橋の竣功式等についても協議を行いわが町に初めて出現する永久橋の完成に期待することとなつた。



〔写真＝完成を間近かにひかえた芹沢橋〕

ことしも豊作
―稲の始末はこの要領で―

今年も三年続きの豊作といわれ、農家にとつては忙しいなかにも嬉しいみのりの秋がやつてきた。春以来、雨の日も風の日も一粒一粒に丹精こめて育ててきた努力の結晶ともいうべき稲も吹く秋風に黄金の波をうたせて刈取りを待つている。

これからの農家は刈取り乾燥脱穀調製、売渡しと全く目のまわるような忙しさが続くわけだが、係ではこの農家の汗の結晶による収入がいくらかでもふえるならばと考え、乾燥、収納調製など農家が心がけてほしい数々のことがらを食糧事務所にきいてみた。

◇稲の刈取は適期に

秋がすすむにつれて稲は乾燥しにくくなるから、刈取は適期におくれないよう早目に行うこと。

◇乾燥に重点を

政府で買上げる玄米の検査は乾燥に重点がおかれていることを忘れないこと。

乾燥期間は九月中であれば二週間、十月に入つてからでは二〜三週間は必要である。

◇収納は晴天の午後に

乾燥のよいもの、悪いものは区分して収納すること。せつかく乾燥をよくしてもその中に少しでも乾燥の悪いものが入つていると悪くなつてしまうものである。

収納は晴天の日の午後に行うこと（午後四時頃までの温度が高いときがよい）朝方の稲と午後の稲では水分が一％ぐらい違うものである。

◇米の調製は入念に

クズ米を取除いて上位の等級に合格するよう調製は念を入れて行うこと。

酒米の調製は米撰機を十分開いて行うこと。

◇包装はていねいにそしてきれいに

俵は検査ずみのものを用い三分五厘の仕上縄で十分に締めること。

サンダワラの突出たものや、荷ユルミするものがないように気をつけること。遠くへの運送や、長期間の保管に耐えるよう包装はていねいにそしてキレイにすること。

◇計画性ある出荷を

早場米各期末には相当の混乱が予想されるので、籾摺調製も計画的に行い検査時の混乱をさけるようにすること。

納税は農協でも取扱います
―役場に遠い人は農協窓口の御利用を―

町税務課では目下滞納整理のため係員が各地区の滞納者宅を訪問し徴税にあたつておりますが、よく耳にすることは「出張所がなくなつたので税金を納めるにも本庁（役場）まで出かけなければならずとても不便だ……」という声です。

ところで町ではこの不便さをなくするため町内各農協の窓口へ徴税事務を委任してありますので、納税者の皆さんは各農協の窓口を利用して下さいますようお願いいたします。

農協窓口で徴収された税金は即日あるいはその翌日には町の係員が出向いて計理されることになつていますから役場の窓口に納付されるのと全く変りがないわけであります。

今後各農家に米代金などが農協から入るようになりますと直ちに町の口座へ振替も出来ますし、あらゆる点で手数がはぶけると考えられますから大いに農協の「徴税窓口」を御利用下さるよう納税者のみなさんへおすすめいたします。

＝税務課＝

農産品評会
ことしは北地区で
＝農家は今から準備を＝

農家一年の汗の結晶を一堂に集めてその出来栄えを競うこう例の「合川町農産品評会」は昨年の第一回につづき今年もその第二回目を来る十一月三日から同五日までの三日間にわたり町内四農協連合会主催、町後援で北中学校を会場にして開かれることになつた。

町内四農協関係者はすでに同品評会について第一回目の打合会を終り啓蒙宣伝に乗り出しているが、各農家でも出品物について今から準備をされるようにと望んでいる。（係より）

次号に会期中の行事および出品物の規格等について掲載の予定です。

渡部先生弘前大学へ帰任
後任に川崎先生

国保直営診療所外科医長渡部昭先生はこのたび弘前大学医学部槇外科へ帰任することになり去る二十三日離任、後任として同大学槇外科より川崎栄悦先生が赴任した。

◇町辞令

主事　佐藤　秀二（税務課）
南支所長を命ずる
主事　桜井　政治（民生課）
書記　佐藤　昭蔵（保険課）
税務課勤務を命ずる
主事　成田　源蔵（税務課）
雇　増田　啓一（民生課）
保険課勤務を命ずる
主事　桜庭作二郎（税務課）
雇　伊藤　敏子（南支所）
民生課勤務を命ずる
書記　成田清二郎（保険課）
南支所勤務を命ずる
主事　成田　米四（南支所長）
合川町教育委員会に出向を命ずる
技術員　畠山宇之助（経済課）
技術吏員を免じ事務吏員を命ずる
主事を命ずる
民生課勤務を命ずる
書記　松岡　祐吉（民生課）
南支所勤務を命ずる
鈴木　運助（教育委員会）
合川町事務吏員を命ずる
書記を命ずる
税務課勤務を命ずる
免　主事　成田　米四
命　同　佐藤　秀二
頭書のとおり出納員を免命ずる
合川町酪農経営指導員を委嘱する　疋田　参良
経済課付を命ずる
但し非常勤とする
（以上九月十日付）

◇町教委辞令

事務局職員　鈴木　運助（総務係）
合川町に出向を命ずる
成田　米四（南支所）
合川町教育委員会事務局職員を命ずる
（以上九月十日付）

美と力の祭典おわる

盛況の全町体育大会

第三回合併記念合川町連合体育大会は去る九日午前十時から南地区グランドで行われた。この日初秋の空は紺碧に澄みわたり絶好の体育日和であつた。

定刻にいたり音楽のメロデーにのつて、各学校の校旗を先頭に選手団の堂々たる入場式がはじまり、畠山名誉会長、畠山大会々長の力強い挨拶と北林審判長の競技上の諸注意があつて熱戦の火ぶたは切られた。

各地区各校とも色とりどりの応援旗を振り立てゝの応援団を繰り出し競技の進展とともに華麗な美と力の祭典となつた。さらに午後からは特設土俵上に相撲競技も開始され熱狂した観衆の声援はグランドの森にこだました。

かくて熱戦七時間、盛会のうちに所期の目的を果して全競技を終了午後五時から閉会式を挙行優勝チームに対し会長より優勝旗（優勝楯）が贈られ、美と力の祭典の幕を閉じた。

なお当日の成績は次のとおりであつた。

◇小学校

◎陸上競技の部

優勝　西小学校
準優勝　南小学校
三位　北小学校
四位　東小学校

◎相撲の部

団体戦
優勝　南小学校
準優勝　東小学校
三位　北小学校
四位　西小学校
個人戦
優勝　伊藤政蔵（南小）

◇中学校

◎陸上競技の部

優勝　東中学校
準優勝　西中学校
三位　北中学校
四位　南中学校

◎相撲の部

団体戦
優勝　南中学校
準優勝　西中学校
三位　北中学校
四位　東中学校
個人戦
優勝　中村精二（北中）

〔写真＝体育大会の光景〕

栄養を十分に

工夫したい　農繁期の食生活

農繁期になると、農家の方の食生活はどうしてもおろそかになり勝ちなものです。眼がかすむ、肩や腰が痛む、体重がグンと減るなどというのはみんな食生活に原因があるといわなければなりません。

これからは「猫の手もかりたい」というほどの秋の取入れの忙しさに入るわけですが、今回はこれからの農家の食生活に工夫したいことをあげて見ましよう。

それには

①一食ごとの食事づくりの労力を軽くする。
②短い時間で食事の用意ができる。
③栄養が上手にとれる。
④手持ちの材料が栄養にかなうように準備されている。
⑤食事の準備の時間と農作業時間との組合せが上手にできている。

ことなどが条件となつてきます。そこでこのようにするためには、保存食をつくつたりきめられた予算（経費）の中で動物蛋白質や油脂類を買いとゝのえたり献立をつくつたりします。

中学校ぐらいの子供さんたちになると、お母さんたちといろいろ相談して栄養食をとゝのえるように工夫するお手伝いをするのも楽しみの一つでしよう。

とにかく、みんなが工夫し合つて農繁期には十分な栄養をとり、元気に過したいものです。（民生課保健婦）

児童文芸

合川東小学校（校長高橋金蔵先生）六年B組のおともだちのあいだではこのごろ「短歌」や「俳句」をつくることがとてもさかんに行われています。

そしてその作品はみんなが読んでいる「毎日小学生新聞」に投稿（とうこう）していますが、特選、入選、佳作などになつて全国のおともだちに紹介（しようかい）されました。

次の短歌や俳句がその作品です。

【短歌】

◎特選　森岡　ミヤ

苗代に
たねもみをまく兄さんを
母うれしげに
ながめいるなり

（評）なごやかな、母と子のありさまがとてもよくえがかれています。

◎特選　後藤　ハナ

川岸で
せんたくしてる母さんの
頭の上で
せみがなくなり

（評）のびのびとしたあかるい歌です。こゝではせみの声もすずしそうですね。

◎佳作　関　多賀司

子すずめを
とろうと木にのぼり
先生方に
叱られるなり

工藤　葉子

田植すぎ
家の人たちのんびりと
本をよんだり
昼ねするなり

工藤　政久

水えいに
浮ぶくろもつねえさんを
弟たちが
追いかけにけり

辻　テイ子

雑木にとまつて
なくせみを
取つてくれよと
子供泣くなり

森岡　ミヤ

水田の
草とりにいく母さんを
子供テクテク
あとを追うなり

工藤レイ子

一校時
消ゴム落し下みたら
みんなの足が
ならんでみえる

【俳句】

◎入選　津幡タダ子

田植すみ
皆でゆつくり
ラジオ聞く

◎入選　御所野正義

土用入り
草とりをする
母げんき

和昭ちやんら十人を

赤ちやんコンクールへ

県と秋田魁新報社が共催の「第一回秋田県赤ちやんコンクール」は目下第二次審査が県内各地区で行われているが、町ではさきに「町コンクール」を開き、佐藤和昭ちやん（川井）ら十人を優良赤ちやんとして県コンクール第二次審査へ推選した。

推薦された赤ちやんは次のとおり

佐藤和昭、和男長男、川井
小笠原幸雄、義雄三男、増沢
後藤博、昭一長男、下杉
田中隆志、トキ長男、合川
斎藤栄、修一三男、新田目
松橋弘子、仁市孫、三里
成田恵美子、常三長女、李岱
杉淵光則、多市長男、増沢
畠山一哉、市太郎長男、木戸石
金田誠、誠悦長男、羽根山

【写真＝推せん状を受けるお母さんと赤ちやん・町コンクールで】

西中が連続優勝

中学野球　阿仁地区新人戦で

第三回北鹿中学校新人野球大会の阿仁地区予選は、秋晴れの二十一日午前九時から森吉町米内沢の丹平川原グランドで阿仁部の精鋭五チームが参加して行われたが、合川西中が米内沢中学を降して、昨年に引続き優勝し、来る十月五、六の両日大館市営球場で行われる本大会に阿仁地区代表として出場することになつた。西中チームは昨年の本大会では準優勝しており、今年こそは優勝をと、チーム全員張り切つている。地区大会の成績次のとおり

▽一回戦
米内沢中5―2合川南中

▽準決勝（第一試合）

合川西	0	0	0	0	2	0	1	3
阿仁合	0	0	0	0	0	0	0	0

（合川）近藤―平川（阿仁合）黒沢
庄司―沢井
◇二塁打＝平川（合川）
（阿仁合）

（評）この日一番の好試合で事実上の決勝戦となつた阿仁合は投手力で、やゝ優り前半は互角の戦いを進めたが、西中は五回表安打と四球で出塁した成田（啓）松岡が走者のとき、近藤が遊撃強襲安打で二者を還して二点をあげ、七回にも成田（啓）が中前安打のあと平川が中堅頭上を大きく越える二塁打で成田を還してダメ押し点をあげ完勝した。

（第二試合）

米内沢	1	0	0	1	1	1	0	4
前田	2	0	1	0	0	0	0	3

▽決勝戦

米内沢	1	0	0	0	0	0	0	1
合川西	0	0	2	1	0	3	X	6

（米内沢）金淳―柳山（合川西）近藤、成田（啓）―平川
◇二塁打＝杉淵（米内沢）成田（秋）

（評）米内沢は一回にトップの杉淵が2ストライク後に近藤が無雑作に投じた球を左翼へ二塁打し、次打者関に送られたあと金（淳）のヒットで一点をあげて試合を先行したものゝその後は近藤、成田（啓）の両投手の好投に抑えられ三安打を散発したのみで三塁を踏むものタッタ一人という状態だつた。

合川西中は三回に三安打を集中して二点をあげ試合を逆転、四回にも成田（秋）の二塁打で一点を追加、最終回には打者七人で二塁打が一本とあまり打撃は振わなかつたが、米内沢の失策と暴投などから三点をあげ結局六対三で圧勝した。

慶弔だより

（自六、一至八、三一）

出　生（五八）

佐藤誠子、市五郎孫、川井
畠山田鶴子、長七郎孫、道城
成田文明、嘉幸三男、羽根山
鈴木牧子、福三郎孫、福田
藤島裕光、幸一二男、木戸石
平川るみ子、純蔵二女、合川
疋田信雄、国郎長男、上杉
村岡広美、磯治二男、八幡岱
村岡睦子、久二二女、八幡岱
森岡薫、三郎孫、上杉
松岡良寿、岩吉孫、羽根山
疋田寛一、助右衛門孫、上杉
森岡進、仁吉二男、道城
松岡元、八郎長男、羽根山
小笠原貞一、貞夫長男、増沢
高橋ちか子、三蔵孫、八幡岱
後藤文子、伊七孫、下杉
松岡恭一、善吉孫、羽根山
工藤まき子、三蔵孫、上杉
佐藤隆則、仁助孫、川井
金田武美、佐五郎孫、新田目
松橋文男、茂雄二男、道城
高橋るり子吉雄二女木戸石
佐藤友子、リヨ孫、木戸石
小笠原吉則、喜四郎孫、増沢
松岡一勝、俊次長男、羽根山
佐藤郁子、富市孫、木戸石
鈴木鉄則、運助長男、福田
菊地欣一、幸一孫、上杉
藤島義人、順一二男、木戸石
桜井波玲美、良蔵長女、下杉
岡　芳英、登長男、合川
近藤　豊、礼治孫、李岱
佐藤順子、一郎孫、川井
藤岡敏一、卯一孫、羽立
金田征子、重蔵孫、摩当
加藤聖子、喜代治孫、鎌沢
佐藤克巳、直治孫、三里
加藤一、長之助孫、東根田
桜田正人、富治孫、芹沢
土濃塚二郎、喜一郎孫　同
金田真利子鶴雄長女西根田
長田誠子、茂治三女、芹沢
福岡貢、勇太郎孫、三里
桜田幹夫、柳一二男、東根田
桜田吉文、吉郎孫、芹沢
桜田正美、清蔵三男、東根田
金森美紀子富美夫長女西同
森岡一、吉正長男、東根田
金田祥子森之助三女西根田
三浦定男、武松孫、三木田
金田昭子、隆雄長女、西根田
金田泰子、富蔵孫、同
福岡ケイ子、逸郎長女、三里
御所野幸子、一男長女、鎌沢
金田典子、文助孫、西根田
三浦千佐子、勲長女、三木田
三浦柳子、幹夫長女、同

死　亡（一六）

斎藤清、キクヱ二男、新田目
藤田留吉、本人、八幡岱
米倉ヒサ、武五郎妻、上杉
小笠原トク、菊治妻、増沢
庄司弁助、修一父、李岱
高橋由之助忠一郎父八幡岱
疋田伊助、伊久三父、上杉
金田キク、勝治母、羽根山
二階堂寛巳　家一弟、上杉
佐藤ノブ、安太郎妻木戸石
松橋長蔵、誠一祖父、摩当
金田仁助、仁市父、摩当
山岡キノ、隆一祖母、雪田
桜田重治郎、リヱ夫、東根田
松橋タケ、久之助養母、三里
金田昭子、隆雄長女、西根田

あとがき

各地区で稲刈りが始まつた今年もまた豊作の予想が出され、みのりの秋を迎える農家の表情も明るい。猫の手も借りたいほどの取入れ期ではあるが、農家のみなさんの健斗を心から祈りたい。

◇

集約酪農がいよいよ農林省の本指定をうけ、関係市町村の態勢もとゝのつた。計画完成後（昭和三十六年）には、わが町でも酪農からの収入が米代金の四分の一に相当する額になるとのこと。計画完成が待ち遠しいほどだ。

◇

広報も近く酪農特集を発行すべく本紙と併行して編集中である。特集号には郡や町の計画をはじめ酪農振興のためのあらゆる内容を取りあげ、一日も早くみなさんのお手許にお届けしたいと思う。

◇

広報三十二号（国保と診療所特集）について「山の中、木人」氏？から投書が寄せられた。

趣旨は「俺もお前たちもみんなそれぞれ忙しい。多額の金をかけてまで診療所のことを宣伝するのはケシカラン!!診療所だけが忙しいのではないからもつと取材を広範囲にせよ……」とのこと。

特集号の手前もあり内容が偏したことは否めない。御意見はつとめて尊重したいと思う。ボクジン氏（多分こう読むだろう……）にお願いしたいことは、広報にこのように御関心をお持ちであつたらぜひ覆面を脱ぎ居所、氏名を明記されたいということである。

（暴言多謝）―S―